

1. 教育の責任

歯科衛生学科の業務に確実に対応できる専門的知識の修得と併せ、幅広い視野から健康を捉え、口腔ケアのための確かな技術とヒューマン・ケア能力を身につけ、社会の発展に貢献出来る歯科衛生の専門家の育成を目指している。

2. 教育の理念

「情操豊かな教養ある人格の完成を目指した学園創立の精神に基づき、専門の学芸を教授研究し、職業及び实际生活に必要な能力を育成し、もって社会の発展に貢献し得る人材を教育する」との本学の教育目的に基づき、歯科衛生および歯科医療を基盤とした専門的知識と技術を修得し、医療人として豊かな人間性と自律性を身につけ、社会に求められ貢献できる歯科衛生士を育成することを教育理念とする。

3. 教育の方法

教育の目的と目標

「歯科・保健衛生に関する専門知識と高度な技術を持ち、広く社会貢献ができ、医療・保健・福祉等の医療関連職種と連携し、チーム医療の推進ができる専門職業人養成を目的とする」という歯科衛生学科の教育目標を踏まえて、歯科衛生士の業務に確実に対応できる専門的知識の修得と幅広い視野から健康を捉える能力を持ちあわせた歯科衛生士の養成に努める。

教育実践

歯科衛生士概論は、歯科衛生士の役割および使命を理解し、医療専門職としての基本的知識および態度を学ぶ科目である。医療専門職としての態度や心構え等については、教員のこれまでのキャリアや体験談を取り入れながら、学生らがイメージしやすいように具体的例を多く示すよう心掛けた。授業では、学生らに事前学習に取り組めるようにエルキャンパスに授業資料を事前に掲載し、教科書と照らし合わせ授業に臨むように指導した。授業中では PP を用いて、できるだけ学生にとって身近に感じられ理解が深められるように図やイラストを用い、さらに 5 分以内の関連した動画を取り入れ授業運営に工夫した。国家試験対策を見据えて、国家試験の過去問題およびオリジナルで作問した小テストを、授業の最後にエルキャンパスにて実施させ、国家試験の解答スタイルに慣れることと単元ごとの授業内容の復習と確認が何度でも実施できるように努めた。保健学概論は、生活における「健康」をどのように捉え、どう考えるのか、健康の保持・増進や疾病予防の活動とその仕組みはどうなっているのかを保健学的概念から考え、人々の健康に関わるさまざまな要因を知り、健康問題に関する予防と改善のための健康管理について学ぶことを目的としている。授業では、エルキャンパスに授業資料を事前に掲載し授業中では PP や関連する動画を取り入れて、わかりやすい授業運営に努めた。授業の後半では、授業内容の確認のため小テストをエルキャンパスにて実施させ、理解を深めるように工夫した。フォーラム A・B は、基礎学力の支援として国語力の育成、自らのキャリア育成のために図書館での文献検索および資料としての PP 作成・発表と、文献の要点をまとめる力・伝える力・コミュニケーション能力の育成に努めた。さらに、歯科衛生を業とする医療関係者の講演を通じて歯科衛生士という仕事の理解を深め、医療人としての姿勢や気構えを学ばせた。個人面談を行い、個々の学生の学業及び学生生活を送る上での相談にも応じた。

4. 教育の成果

授業資料を事前にエルキャンパスにて掲載することで、学生は授業前の予習や欠席時の学修に活用しており、主体的な学びに結びついている。授業教材として PP および関連した動画の活用は、学生から高い評価を得て、わかりやすい・具体的で興味関心が高まった、などの声が届いている。授業後半の小テストも国家試験スタイルでの出題であり、授業終了後も繰り返しトライすることができるので、早い時期から国試対策への関心を持たせる効果があった。

5. 改善への努力と今後の目標

授業資料としての PP や関連した動画の活用が学生に好評であったので、より分かりやすい動画の選定を検討して、継続し取り入れたいと考える。また、小テストの問題数および解説等についての指導を今後の課題としたい。

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前短期大学 所属：歯科衛生学科 名前：木林 美由紀 作成日：2024年11月20日

【添付資料】

なし